

氏名	平 野 和 博
学 位 の 種 類	医 学 博 士
学 位 授 与 番 号	乙 第 996 号
学 位 授 与 の 日 付	昭和53年12月31日
学 位 授 与 の 要 件	博士の学位論文提出者 (学位規則第5条第2項該当)
学 位 論 文 題 目	虚血性心疾患治療薬の虚血域心筋内血流分布におよぼす影響 (交叉熱電対法による実験的研究)
論 文 審 査 委 員	教授 木村郁郎 教授 大藤 眞 教授 寺本 滋

学 位 論 文 内 容 の 要 旨

急性冠動脈狭窄犬を用い、作用機序の異なる3種類の虚血性心疾患治療薬が虚血域の心筋内血流分布におよぼす影響を検討した。心筋局所血流の測定は、交叉熱電対法により心筋の内層と外層との2カ所で行った。

- 1) 冠動脈狭窄により、灌流域の外層血流は変化しないが、内層血流が減少するため、心筋内血流分布は不均等となった。
- 2) mitroglycerin 投与により、虚血域の外層血流は減少するが、内層血流は変化しないため、心筋内血流分布は再び均等となった。
- 3) prenylamine および dipyrindamole 投与により、虚血域の内層血流が主に減少するため、心筋内血流分布はさらに不均等となった。

以上のように薬剤によって虚血域の心筋内血流分布におよぼす作用が異なるのは、薬剤が作用する冠血管の部位および左室の preload におよぼす影響に相異があるためと考えられた。

論 文 審 査 の 結 果 の 要 旨

本研究は虚血性心疾患治療薬の虚血域心筋内血流分布におよぼす影響について実験的に交叉熱電対法を用いて研究したものであるが、従来十分確立されていなかった虚血域心筋内血流分布についての観察で、3種の薬剤を用いることにより、その外層及び内層血流の変化について重要な知見を得たものとして価値ある業績であると認める。

よって、本研究者は医学博士の学位を得る資格があると認める。